



気がつけば、もう12月！

まだ間に合います。気づいたときが始めどきです。読もうと思っていた本をこれから読みましょう。

教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。

ぜひ研究や研修にお役立てください。教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。

基本的に土曜日も利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

書籍紹介

① 「つくる◆教えない『教える授業』 — 教師としての“腕”をみがく」

佐久間勝彦/著

(一壺書房 2023年発行)

本書は、「令和の日本型学校教育」「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」を日々の授業で展開しようと悩み、迷い、奮闘する教育現場に、「学びの質の深さ」という視点で一石を投じるものです。「教えない『教える授業』」という矛盾した題名に、著者のそうした想いが込められています。

一人一人がタブレット端末を使って情報を得て、それを互いに交流し合って、最後に振り返りを書く・・・このような授業に物足りなさや疑問を感じているあなた、このような授業から抜け出したいと思っているあなたにお勧めします。本当の意味での「個別最適な学び」と「協働的な学び」の行く先を示唆してくれる一冊です。

それだけでなく、「子どもは【遠い異国からやってきた旅人】である」「中村哲—アフガンを歩いた日本国憲法」「教育と調教、そして啐啄同時・阿吽の呼吸」「黒衣としての譜めくり・黒衣としての教師」・・・など、様々な話題の中に教育の本質にかかわるエッセンスが散りばめられています。読み進めていくうちに、あなたはそれらが総じて「教えない『教える授業』」につながっていることに気付くことでしょう。

② 「先生にぜひ読んでほしい すぐわかる著作権と授業」

一般社団法人大学 ICT 推進協議会/制作・発行 (2023年発行)

「SNS 別 最新 著作権入門」

井上拓/著 (誠文堂新光社 2023年発行)

「職場の著作権対応 100 の法則」

友利昂/著 (日本能率協会マネジメントセンター 2023年発行)

「教育現場と研究者のための著作権ガイド」

上野達弘/編 (有斐閣 2021年発行)

授業や研修会、学校 Web ページや最近であれば遠隔授業で著作権に注意しなければならないことはわかっている、著作権関係の資料をみると、法律用語が煩雑だったりグレーゾーンが多くてどう判断したらいいのか迷ったりで、苦手意識をもっている方も多いのでは。もっと学校現場の実務に即したわかりやすい資料はないものかという方にお勧めなのが冊子「先生にぜひ読んでほしい」です。法律の引用は最小限に抑えて、事例と対話形式で法律用語の解説や学校現場で実際に遭遇するであろう様々な事例についての考え方が提示されているので、すらすら理解できます。表題どおり「すぐわかる著作権と授業」です。冊子の内容は「大学 ICT 推

進協議会」の Web ページ（ https://axies.jp/report/copyright_education/ ）でもみることができます。

「SNS 別」は、SNS において問題となる事例について解説した本ですが、前半部分は著作権について概観するようになっており、「わかりやすさを最優先した」という著者の方針にたがわず、著作権法の基本概念がすんなりと頭に入ってきます。この部分だけでも読む価値があります。後半部分も今や生活に欠かせないものとなった SNS において、どのような事例が問題となるのか非常に興味深く読むことができます。特に学校ホームページの制作をしている方には参考になるでしょう。

「職場の著作権対応」は企業活動における著作権対応の解説が中心ですが、著作権については明確な基準のないグレーゾーンが少なからずあって法令上あるいは慣行上、一般的にどこまでがセーフなのか根拠を示しつつ説明してくれます。研修資料をコピーして配布していいものかどうか等、教育現場で著作権上これはどうなのと迷ったときの参考になります。

教育現場における著作権についてより詳しく知りたい場合は、「教育現場と研究者のための」が参考になります。著作権の基本概念の他に、教育現場で問題になりそうな 100 以上の事例について Q&A 形式で詳しく解説してくれています。記述そのものは平易なので、著作権についてより詳しく調べたい場合には頼りになります。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等（抜粋）
国語教育 (明治図書)	12月号	<p>【特集】900号記念特別号 これまでの国語教育×これからの国語教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇国語教育と教科書 ◇国語教育と学習評価 ◇国語教育と学力調査 ◇国語教育と教師の力量形成 ◇国語教育と書くことの学習指導 ◇国語教育と話すこと・聴くことの学習指導 ◇国語教育と語句・語彙 ◇国語教育と個別最適な学び・協働的な学び ◇国語教育と情報活用能力 ◇国語教育と読むことの学習指導 ◇国語教育と子どもの主体性 ◇国語教育と1人1台端末・ICT ◇国語教育と生成AI ◇国語教育と多様性 ◇国語教育と古典 ◇国語教育と読書 他 <p>【特別寄稿】国語教育の不易と流行</p> <p>【連載】◇「ことばにならない何か」から始まる国語教育</p> <p>◇語彙学習 人物評価語彙学習と好悪に対する語感を豊かにする</p>
社会科教育 (明治図書)	12月号	<p>【特集】社会科教育のこれから「令和の学びのスタンダード」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇社会科教育と教科書の活用の仕方 これからのスタンダード ◇一人一台端末のデジタル学習基盤を前提とした協働的な学び ◇社会科における授業理論と実践の関係 ◇社会科教育と学習評価 ◇子どもの多様性を受け止める「個別最適な学び」「個に応じた指導」 ◇「内容知」と「方法知」から考える教科内容の構造化 ◇社会科教育における「真正の学び」と教授法 ◇教科横断的な学びも視野に入れた社会科カリキュラム ◇社会科教師の専門性の涵養と授業への活かし方 ◇社会科教育でどのように市民性を育むか 「主権者教育」のこれから ◇（授業最前線）「これから」の視点から考える社会科授業デザイン

<p>新しい算数研究 (東洋館出版社)</p> <p>12月号</p>	<p>【特集】DXへの対応、授業スタイルの転換を軸に捉え直す</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇算数における教育DXの行方：実験数学のすすめ ◇考えの練り上げの設定とさらなるICTの活用を ◇なぜ教育DXか ◇数学化の促進とDX ◇振り返りとDX <p>【特別寄稿】教育DXの時代—これにどう対応したらよいか</p>
<p>数学教育 (明治図書)</p> <p>12月号</p>	<p>【特集】永久保存版 授業、評価で使える指導技術100</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇興味・関心を高める「教材化」 ◇問いをもたせる「問題提示」 ◇全員参加を促す「指示」 ◇考えるきっかけを与える「机間指導」 ◇当たり前を問い直す「ゆさぶり発問」 ◇つまづきを生かす「展開」 ◇疑問やつぶやきをを広げる「問い返し発問」 ◇板書の丸写しにしない「ノート指導」 ◇気付きや困りを可視化する「ふきだし(板書)」 ◇思考のつながりを可視化する「構造化(板書)」 ◇ICTならではの生かす「提示(1人1台端末)」 ◇お客さんをつくらない「グループ学習づくり」 ◇思考・判断・表現を正しく見取る「定期テスト問題作成」 ◇主体的に学習に取り組む態度を正しく見取る「記述物評価」 他
<p>理科の教育 (東洋館出版社)</p> <p>12月号</p>	<p>【特集】「個別最適な学び」を実現する理科授業とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇理科における「個別最適な学び」とは何か ◇「個別最適な学び」を実現する理科の授業(小学校・中学校・高校) <p>【連載】◇生徒をひきつける観察・実験 糸電話で試行錯誤</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇教材の隠し味 思考を深めるペーパークラフト ◇ARを活用して、生徒が前のめりに観察したくなる天体の単元の授業づくり
<p>英語教育 (大修館書店)</p> <p>12月号</p>	<p>【特集1】「英語嫌い」の背景にあるものとは 生徒の心の声に耳を傾ける英語指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇児童生徒の本音に寄り添う 支援的指導で求められることは ◇個別状況に対応した「オプション」で同じゴール(目標)を目指す ◇英語が苦手な生徒へのICT活用で気を付けたいこと <p>【特集2】「生成AIパイロット校」の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇生成AIを活用した「シン」英語科授業デザイン ◇表現活動・国際交流での生成AIの効果的な活用を探る ◇生成AIを活用した地域課題学習：八丈島の魅力を発信 <p>【特集3】学習者用デジタル教科書活用の現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇デジタル教科書の学びを伴走者に ◇藤木先生の児童たちはどのように家庭学習を行ったか ◇学習者用デジタル教科書の利活用に向けた現状と好事例
<p>道徳教育 (明治図書)</p> <p>12月号</p>	<p>【特集】完全保存版 道徳の学習過程大全 伝統的理論から哲学対話まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇学習過程ヒストリー 年代ごとにわかる学習過程の発展 ◇青木理論・井上理論であらためて学ぶ基本の学習過程 ◇理論から指導案まですべてわかる学習過程大全 <ul style="list-style-type: none"> ・EAMA(新しいエンカウンター) ・モラルジレンマ授業 ・総合単元的道徳学習 ・役割演技を用いた道徳 ・問題解決型の道徳

		<ul style="list-style-type: none"> ・トリオ学習 ・パッケージ型ユニット価値探究学習 (MVEPU) ・「2つの意見」を用いた道徳 ・哲学対話 (p4c) の道徳 ・価値認識・自己認識・自己展望の道徳 ・「学び合い」の道徳 他
授業力&学級経営 力 (明治図書)	12月号	<p>【特集】「自由進度学習」パーフェクトガイド</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇自由進度学習とこれからの学び/奈須正裕 ◇自由進度学習の考え方とねらい ◇自由進度学習3つのパターン ◇ゼロからわかる 自由進度学習の進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・教師の心構えと役割 ・学習環境の最適化 ・単元計画のつくり方 ・学習計画表のつくり方と生かし方 ・導入の授業のガイダンス ・1時間の具体的な流れと教師の動き方 ・評価の仕方 ・1単元の具体的な流れと教師の動き方 ・1人1台端末の生かし方 ・学習プリントの実例と生かし方 ・停滞しているときのフォローの仕方 ◇疑問にすべて答える！ 自由進度学習のよくある課題と解決策 ◇学校全体で取り組む自由進度学習 ◇通常学級の特別な支援を必要とする子と自由進度学習
生徒指導 (学事出版)	12月号	<p>【特集】これからの時代の「部活動と生徒指導」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇学校における部活動の意義 ◇部活動の地域移行の現状と課題 ◇部活動における「いじめ」・「不適切指導」 ◇持続可能な部活動を目指して コロナ禍での ICT を活用した地域移行 ◇主体性を育む部活動改革「考える習慣」と「自己選択」の機会をつくる ◇究極のアクティブラーニングを実践する生徒たちと共に学ぶ <p>【巻頭インタビュー】子どもたちが「考えること」をあきらめないために</p> <p>【連載】◇ライブ講義 教育相談 教師の挑戦を促す心理的安全性</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇学びの選択を子どもに、多様な学びを地域と 子ども中心の視点による不登校児童生徒の支援 ◇教育経験格差 日本の不登校の構造について ◇押さえておきたい毎日の生徒対応 係活動をどう始めるか
	12月号 増刊	<p>「支える」生徒指導 わたしの小さな実践事例集</p> <p>「させる」から「支える」への転換、わたしはここから取り組んでみた！ 小・中・高、担任、管理職、専門職…… さまざまな立場から贈る学校現場の実践記録</p>
教職研修 (教育開発研究所)	12月号	<p>【特集1】「校長が変われば学校が変わる」でいいのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「カリスマ校長」の、その後 ◇校長の役割-思い、裁量、一線 ◇アンケート①校長編 なぜ、学校を「変えよう」とするのですか？ ◇アンケート②教職員編 校長が「代わって」ここがよかった/困った ◇スーパーマンではない校長にできること ◇コミュニティ・スクールが学校をつくる <p>【特集2】脱マンネリ、伸びる教職員集団の「学校評価」リデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇個人と教職員集団の成長を促し「やってよかった」学校評価へ ◇ICTを駆使して保護者・地域との連携を深める ◇チーム力を上げ教育目標達成に近づく「学校評価」のふり返り ◇アンケート調査による評価を有意義なものにする留意点

<p>初等教育資料 (東洋館出版社)</p> <p>12月号</p>	<p>【特集1】個に応じた指導の充実① 【特集2】好奇心や探究心を高める学習活動 【教育の扉】人間の可能性は無限大/マセソン美季 【連載】◇指導主事アイ 子供たちの未来への懸け橋となる生活科 ◇[チーム玉湯学園]で取り組む実践 9年間を見通して育みたい子供の姿 ◇保育を構想する力 体験のつながりが生まれる保育</p>
<p>中等教育資料 (学事出版)</p> <p>12月号</p>	<p>【特集】〔中学校〕各教科等を交えて語り合う③～学習過程の重視～ 【教育小景】教科書的には正しくないことがおもしろい 【連載】◇高等学校における特別支援教育の充実 ◇GIGA スクール環境と1人1台端末を活用した授業づくり「下中授業プラン」の実践 一人ひとりの生徒にアジャストした学習の実現に向けて 香川県高松市立下笠居中学校 ◇専門教科情報科で育成する資質・能力と学習評価(知識・技術)について</p>
<p>実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)</p> <p>12月号</p>	<p>【特集〈スペシャル座談会〉】どう進める？スクールワイドPBS(前編) さやか星小学校のポジティブな実践アイデアから 【連載】◇レクリエーションのできるカラダケア ◇もっと深掘り Q&A デジタルテクノロジーとのつき合い方は？ ◇大人や友だちをからかって反応を楽しむASD児、どうしたらいい？ ◇希望の就学につなげる学校公開・見学・体験授業 ◇境界知能とは？ ◇ケース会議の開催、進行のコツ① ◇こどもを見立てるということ ◇感覚的な問題による偏食 ◇すべての希望者が通級を受けられる地域連携「但馬モデル」の構築</p>
<p>特別支援教育研究 (東洋館出版社)</p> <p>12月号</p>	<p>【特集】「働くことにつながる力」ってなんだろう？ ◇小学校段階の「遊びの指導」や「日常生活の指導」を通して培われる「働くことにつながる力」 ◇「生活単元学習」を通して「働くことにつながる力」を育む ◇特別支援学校中学部における働く活動 ◇特別支援学校高等部における職業態度を身に付ける授業実践 ◇「働くことにつながる力」とその支援について、障害者雇用の現場から考える 【連載】◇特別支援教育の基礎知識 キャリア・パスポートの意義 ◇やりがいと手ごたえのある学校生活を生み出す「できる状況づくり」 ◇「3つのA」の視点を活かした算数授業のユニバーサルデザイン ◇通級指導担当者からの発信 自立活動ホップ・ステップ・ジャンプ！ ◇特別支援学級の授業づくり UPDATE 日々の授業に「ちょこっとICT」 ◇特別の教科 道徳における特別支援学校と小学校の交流及び共同学習 ◇情報解説 With Kids の活動と海外の特別支援教育事情 ◇自己理解を深める「セルフサポートブック(Self-Support Book)」 つながりのある本校独自のキャリア・パスポートの作成と試行的活用</p>
<p>学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)</p> <p>11月号</p>	<p>【巻頭連載】生き生き図書館 香川県立高松高等学校 【特集】子どもの読書の現状(第69回学校読書調査報告) ◇「きっかけ」を作って、本へ導こう ◇雑誌の良さを伝えたい 雑誌の読書冊数は減少しているが</p>

		<p>◇電子書籍読書の広がりとは低年齢化</p> <p>◇さらに子どもたちの身近になったインターネットの情報</p> <p>◇「本を読むことは大切」意識は高いが</p> <p>◇幼少期からの系統的・継続的な読書計画による指導を</p> <p>【連載】◇国語辞典を「読む」楽しみ!?</p> <p>◇図書館司書のような図書委員の育成②</p> <p>◇また来たい!と思われる図書館をめざして 情報発信編</p> <p>◇心に届く読み聞かせ 芯のある 届く声の作り方</p>
<p>高校教育 (学事出版)</p>	<p>12月号</p>	<p>【特集】コミュニティ・スクールの現在地と地域連携</p> <p>◇現場の実践から考えるCSのこれから</p> <p>◇コミュニティ・スクール推進の現在地</p> <p>◇神奈川のコミュニティ・スクールのこれまでとこれから</p> <p>◇高校型CSの実践 富田林中高一貫教育校の取組から</p> <p>◇高校“こそ”コミュニティ・スクールに</p> <p>【巻頭インタビュー】これからの社会に必要な「交渉学」(上)</p> <p>【連載】◇2040年、教育の旅 高校魅力化プロジェクトの挑戦</p> <p>◇閉校の危機を乗り越えて 高校教育の課題にいち早く取り組んできた分校 島根県立三刀屋高等学校掛合分校</p> <p>◇進路マイスター・倉部の高校教育サポーターズ 修学旅行で大学生体験</p> <p>◇高卒就職のリアル 新卒高校生を「安売り」しないで</p> <p>◇荒瀬克己の「おとなの探究基礎」 “受けとめる”</p> <p>◇「公共」での端末活用の授業実践 岡山県立岡山一宮高等学校</p> <p>◇シン・高校教育論 「大学入試」の意味が変わっていることに気づいて</p> <p>◇探究活動を社会に開く 徳島県教育委員会の取組</p> <p>◇教育と法 インクルーシブ教育に関する近年の動向</p>
	<p>増刊</p>	<p>管理職や研修企画者のための 教員・管理職研修アップデート講座</p> <p>◇どこをアップデートするのか 3つのポイント</p> <p>◇アップデートされた校内研修の実際</p> <p>・北海道剣淵高等学校の事例 ・名寄市教育委員会の事例</p> <p>◇DX時代の管理職研修アップデート クラウド&集合で学び合う</p>
<p>道徳と特別活動 (文溪堂)</p>	<p>12月号</p>	<p>【特集1】教材提示を今よりもっと効率化する 準備から情報共有まで</p> <p>【特集2】「選ぶ」話合いから新たな考えを「生み出す」話合いへ - 「くらべ合う」を考える -</p> <p>【連載】◇〔対談〕学級活動(1)の指導充実の意義と課題</p> <p>◇しつこく聞けないその悩み 代理質問承ります</p> <p>◇12・1月「学級経営」の基本(2か月の指導改善プラン)</p>
<p>学校事務 (学事出版)</p>	<p>12月号</p>	<p>【特集】2024年度夏季研究大会・集會りレポート</p> <p>【特別企画】教職員のストレスチェックデータ分析結果を受けて</p> <p>【連載】◇日々を彩るオススメ文具 「ウカンムリクリップ」</p> <p>◇事務職員のための自己理解入門 「教員組織と息が合わない」悩み</p> <p>◇語ろう!学校財務 財務の専門性が発揮できる環境とは</p> <p>◇財務を通じた校務運営参画 可視化と対話のチームづくり</p> <p>◇中教審答申の解説(3)「フレックスタイム制」等について</p>

<p>指導と評価 (日本教育評価研 12月号 究会)</p>	<p>【特集1】主体的・対話的で深い学びがめざすもの(3) 【特集2】発達支持的生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇SEL(社会性と情動の学習)と発達支持的生徒指導 ◇構成的グループエンカウンターと発達支持的生徒指導 ◇学校全体で行う自己肯定感の涵養に向けての取組み ◇子ども理解を中心に据えた授業づくりに向けての一考察 ◇「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会」による論点整理を読んで ◇認知心理学の視点から見た宿題の役割と指導 ◇解決志向ブリーフセラピーに学ぶほめ方のコツ
--	---